

功勞者4人を表彰

南房観光連 地域の観光振興に尽力

安房3市1町の観光関係者で組織する、南房観光連盟(堀江洋一会長)による表彰式が14日、南房総市のみうら元気俱樂部ささなみホールで開かれた。地域の観光振興に功績のあった人を表彰するもので、今回は4氏が表彰された。



令和3年度 南房総観光連盟表彰式

表彰された4氏ら＝南房総

表彰されたのは、大河内博夫氏、片方義明氏、峯隆司氏、川名三雄氏の4人。堀江会長から各氏それぞれに賞状が手渡された。受賞者を代表して片方氏が「荣誉に報いるためにも、さらにはゆまめ努力をいたす所存ですので、今後とも変

わらぬご指導をお願いいたします」と謝辞を述べた。表彰された各氏の功績はとおり。▽敬称略▽大河内博夫＝館山信用金庫に40年にわたって勤務し、地域の企業と密接に関わり、平成29年からは館山市観光協会の監事として、金融機関の視点からの確かなアドバイスを行っている。▽片方義明＝平成6年にタクシー乗務員の立場で地域の特色を紹介しようと、自然や文化遺産について学び、19年には県の「デザイン・ネーションキャンペーン」を機に、館山市を拠点とした南房総の観光タクシーコースの開発、運転手の資質向上に尽力。NPO法人安房文化遺産フォーラムに所属し、スタディーツアーのガイドも務

め、赤山地下壕跡の無料ガイドを10年以上続けている。現在、館山市観光協会理事、館山市観光協議会浦特別委員、タクシー業界の立場でユニバーサル観光開発に参画し、誰にでも優しい館山を目指している。▽峯隆司＝平成12年から飲食店「見晴亭」の経営を継承。13年から「南房総白浜アームレスリンク大会」を開

催し、第1回目から現在まで大会実行委員長を務め、全国から選手が集まる大会となっている。野島売店組合組合長を18年から務めている他、野島埼灯台周辺で開催される「海女まつり」の実行委員を務め、千葉県を代表する夏のイベントに成長させた。

▽川名三雄＝南房総市岩井地区の民宿52軒でつくる岩井民宿組合の会計を現在まで15年間務めている。同地区は、夏の臨海学校と大学の合宿受け入れが主体だったが、教育旅行の受け入れを進めるため、首都圏や中京圏、北海道などに営業を行い、千葉県有数の受け入れ地と認知

されている。28年から南房総市観光協会副会長として、南房総エリアの観光誘客を図っている。